

3.結果

図2

1ヶ月の体重増加率の変動

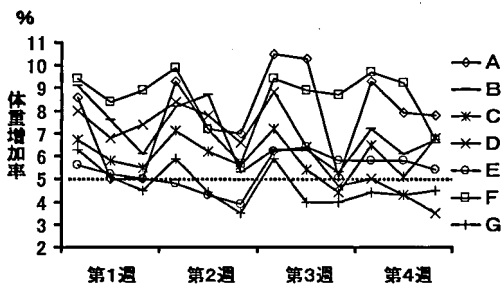


図2は7名の患者の1ヶ月の体重増加の変動を表したグラフである。7名とも週初めは全員基礎体重より6~10%増えており、週末に5%以下になったのは、1名のみであった。

図3

患者紹介

年齢	性別	仕事	透析歴	DMの有無	主なDMの症状	便秘	交友関係	外食	キーパーソン	
A	61	女	主婦 家事	4年 8ヶ月	有 インスリン 使用	神経症状 視力障害 低血糖	有	娘 兄弟	1~2 回/月	長女
B	61	女	主婦 家事	1年 3ヶ月	有 インスリン 使用	口渇	有	娘	1~2 回/月	夫
C	70	男	建設業 自営	3年 6ヶ月	有	無	有	仕事 仲間	1~2 回/月	妻
D	78	男	隠居	3年	有 内服療法	口渇 神経症状	有	親戚	0	嫁夫婦
E	84	男	農業	1年 3ヶ月	無	—	無	マレット 仲間	0	妻
F	61	女	主婦 家事	22年	無	—	有	親戚 友人 個人	3~4 回/週	夫
G	72	女	主婦 家事	2年	有	無	無	娘 個人	3~4 回/週	長男

※嫁がキーパーソンになり得る対象者は無

図3は7名の対象患者の紹介である

年齢は51歳~84歳、女性は全員家事を行っていた。男性は1名が建設業、1名が農業、1名が隠居。6名が仕事を持ち活動していた。透析歴は1年~3年が5名、それ以上が2名であった。DMの有無に関しては5名がありという結果で、そのうち3名が自覚症状を訴えていた。しかし、この3名はインスリン療法や内服療法等にて血糖コントロールを行っており、DMの無い2名の存在を考えると、DMであるから体重管理不良という事は必ずしもないと考えた。便秘の有無も下剤を使用しコントロールしているのであまり関係が無いと思われた。7名全員、交友関係が広く、食事及び茶を取る機会が多いことがわかった。外食回数が3~4回/週というのは、体重管理不良の大きな原因であり、1~2回/月の外食に関しても透析治療を受けている方としては、多いのではと考えた。

注目したのはキーパーソンの欄で、嫁が管理しているという方が1名もいなかったと言う事である。自分の配偶者や子供がキーパーソンの場合は患者に甘くなってしまっていると考えられる。又患者もわがママが言えるのではと思う。

統計はとっていないが、キーパーソンが嫁という場合は体重管理がしっかりしていると感じた。

図4

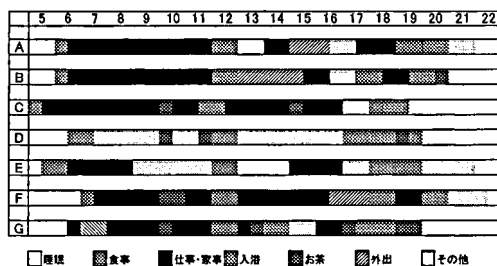


図4は非透析日の患者の1日の行動スケジュールを示したものである。

仕事や家事を行っている時間が、D氏を除く全ての人が4時間~8時間あり、かなり活動的に過ごしている事がわかった。お茶の時間をとっている人が多く、お茶の時間がない方も、時間を決めてはいないが喉が渴いたら水分をとる様にしているとの事であった。

その他が多いD氏は、この時間、TVを見たり、ゴロゴロしているとの事で、気ままな自由の生活のようだ。

図5 体重管理指導に関し患者が感じていること

- ・慣れたが、言われるとカチンとくる。
- ・毎回同じ事を言われ、くどいと思う。
- ・色々言われても気にしない、何も感じない。
- ・話をされるのは嫌で、病院で話を聞いても家で気をつけようとおもわない。
- ・注意されて反省するが、意志が弱くまた水分過多になってしまう。
- ・自分が悪い時は言われても仕方ない。
- ・ありがたいと思う。

図5中のこれらの意見より推測出来ることは、患者に、自分で病氣と闘っていかなければこの問題は解決してゆかないのだ。という事がわかってもらえていなかったという事である。指導の仕方を患者が自立し、自分で体重管理が出来る様に変えてゆく必要があると考えた。

4. 考察

同居している嫁がおらず、自由に動く事が出来、家族からの協力を必要としない患者は、交友関係も広く外出や外食が増え、そのため食事療法においても健康人と同様の感覚になってしまうと考えられる。自覚症状やシャントトラブルが出現しても危機感を持つ事ができず、同じ生活をくりかえしてしまうのではないか。今回生活パターンに注目した患者からは看護師の指導に対し肯定的な意見が少なかった。指導は前向きな闘病生活をおくるものとは受け入れられていなかった。

体重管理不良の患者は個々の生活パターンを調べる事により体重増加の原因を知る事が出来ると考える。不良因子が明らかになれば、患者への個別性のある指導が容易に成るのではと思う。

5. 結論

体重管理不良の要因として

- ① 生活が自立している
- ② 交友関係が広く外出、外食が多い
- ③ 嫁がいず、家族等周囲のサポートが不足している。
- ④ 食事療法の重要性を理解していない。
- ⑤ 前向きな闘病生活を送る為の指導が不十分等が考えられた。

6. 文献

引用文献

- 1) 石間順子: 体重増加に関する因子の分析 題46回
(社)日本透析医学会学術集会総会 特別
号914. 2001

参考文献

- 1) 長谷川素美: 特集 患者指導にすぐ役立つ! 水分管理 Q&A. 透析ケア. 第10巻6号. メカディカ出版2004年
- 2) 金井一薫: KOMI チャート 日常ケアの実践を導く方法論. 現代社. 1996年
- 3) 植松節子: ナースがささえる透析患者の栄養管理. メディカ出版. 2001年
- 4) 小川洋史: 透析ハンドブック. 第3版. 69~71. 医学書院. 2000年